

令和3年度倉敷市図書館協議会議事録（要旨）

- (開催日時) 令和3年6月30日(水) 14時00分～15時40分
- (開催場所) 倉敷市立美術館 第2会議室
- (協議事項) 令和2年度事業報告
令和3年度事業計画
- (出席者) 委員：宇多川委員，玄馬委員，佐藤委員，柴田委員，武田委員，津田委員，鳥越委員，中村委員，山辺委員，渡邊委員
〔10名〕
事務局：井上教育長，三宅生涯学習部長，梶田中央図書館長，天野中央図書館館長補佐，奥田水島図書館長，藤田児島図書館長，児玉玉島図書館長，丸谷船穂図書館長，石井真備図書館長，姫井中央図書館庶務係長，原田中央図書館主任 〔11名〕
- (傍聴者) なし

《議事録（要旨）》

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 委員自己紹介・職員紹介
- 4 議題

(1) 令和2年度事業報告

<事務局> (説明)

(2) 令和3年度事業計画

<事務局> (説明)

<委員> 真備図書館の再開館に向けての活動の中で，図書購入の寄付を募集して令和3年2月末までに1000万円以上の寄付があったとのことですが，すでに図書を購入にあてられたのでしょうか。

<事務局> 寄付金につきましては倉敷市の歳入に充当をしております。1000万をもってそれで本を買ったということではありません。図書購入費に入れさ

せていただいた、という仕組みになっております。図書購入費の一部が寄付金によって賄われたということです。

<委員> 玉島図書館の行事予定の12月に「子ども読書活動推進講座」という素晴らしい名前の講座があるのですが、具体的にはどのようなことを予定されていますか。

<事務局> 具体的な内容は未定です。

<委員> 真備図書館の復旧ご苦労様でした。全国からの支援がこんなにも手厚いんだなと感じたのですが、移動図書館はその後どうされていますか。

<事務局> マビっ子笑顔図書館号を6月からまびいきいきプラザと真備公民館二分館に個人ステーションの運行を開始しました。

<委員> 車もいただいたということでぜひ今後も続けていただき、宣伝もしっかりしていただけたらと思います。

<委員> 柳井原小学校では子どもが移動図書館を楽しみにしています。以前は地域の方も多く利用されていたと聞いています。今年度はコロナの影響もあるのか、地域への広報があまりなかったのか、地域の方がたくさん来ることがないので、移動図書館の広報活動についてはどのようにされているのか教えていただきたいのが1点。もうひとつは「広報くらしき」に毎月の行事が掲載されていますが、紙面的にあまり詳しいところまで載せることができていないと思うのですが、市民の皆さんへの積極的な広報活動を計画されていたらというのが2点。教えていただけるとありがたいです。

<事務局> 広報紙は紙面が限られているため詳細が掲載できませんが、詳しくはホームページやメールマガジンで行っており、かなりタイムリーに情報提供できていると思います。ただ、そういったものを利用できない方もおられるので、工夫していきたいと思います。

<事務局> 移動図書館は月1回と限られた機会になるため、車で近くの図書館を利用されているケースも多いと思います。移動図書館は本来、図書館から遠い方、なかなか図書館に来られない方ための図書館ですので、そういう方へのケア、広報を考えていきたいと思います。

<委員> 移動図書館にすごく多様な本を選ばれていて、こんないい本があるんだなと改めて感じました。学校からも保護者を通じて地域の方にお知らせしたいです。

<委員> それぞれの図書館で魅力的な活動を展開されている印象ですが、例えば今年度の「くらしきこども司書講座」は全館共通のイベントであるように感じました。全館共通のイベントがどれくらい展開されているのが気になったところです。コロナの時代に中央図書館の読み聞かせを水島図書館で遠隔で見れるというのはどうでしょうか。ライブがいいというのは分かるのですが、参加人数を見ると一桁ないしは二桁であってもそう多い人数ではない、せっかくのいい企画なのにもったいないなという印象がありましたので、他の図書館でも遠隔参加できる、見ることができる、というやり方もあるのかなという提案です。

<委員> コロナ禍で小学校の子どもたちは地域の方と触れ合う機会がなく、体験活動もなかなか実施できておりませんので「くらしきこども司書はじめて講座」というのを企画してくださるのはありがたい、ぜひ続けてほしいと思います。

(その他の講座で)「よみきかせボランティアをしてみよう」とか「ボランティア入門講座」「ステップアップ講座」があるのですが、これを重ねていくと受講者の方は学校や図書館で読み聞かせをすることができるようになるのでしょうか。

<事務局> 「読み聞かせ講座」の受講者は学校で読み聞かせボランティアとして活動されている方もおられますし、図書館で活動されている方もおられます。

<委員> 小学生は(読み聞かせが)大好きですのでたくさんの方が参加されるとうれしいなと思います。

<委員> 予算の説明の中で「職員が減って人件費が減った」ということですが、大変だろうなと思います。視聴覚資料費が減っているのは気になりました。

<事務局> 視聴覚資料以外のものに特に重点を置いております。資料費全体としては令和2年度より多い予算となっております。

<委員> たくさんの催し物をしていただきありがたい。図書館間で連携し、同じコンテンツをしながらいろいろな人に普及していくという観点ではいいのかなと思いました。

県立図書館では学校図書館との連携をして図書の貸出をしているが、倉敷市でもやられているのでしょうか。

<事務局> 倉敷市も各学校にネット端末があり、ホームページから予約をかけて学校司書が借りに来ています。

<委員> 移動図書館車が走っているところしか見たことがない。(自分の勤める保育園は) 図書館から近いのでどうかと思うのですが、コロナ禍で子どもが保育園から出たの活動ができていないので、子どもたちに移動図書館を見せてやりたい。子どもたちが、本・図書館に親しんでもらえるかなと思います。

<事務局> 移動図書館が稼働していない時間であれば、移動図書館見学に対応できると思いますので、ご相談ください。

(3) その他

中央図書館の移転について

<事務局> (説明)

<委員長> 今ここで「はいどうぞ」と言われても皆様すぐには出しにくいのではないかと思いますので、この点については皆さん一度持ち帰られて、それぞれのお立場、役割の中で考えていただいて各図書館にお知らせいただくではどうでしょうか。

<委員> 資料を届けていただいたので目を通させていただきました。移転して複合施設ということで市民が使いやすいように工夫していこうということはあると思うのですが、図書館の視点から考えたときに未来の新しい図書館を構想されると思うので、図書館の機能がどれだけ充実していくのか、市民からの意見を吸い上げていくシステムを作って欲しい。大学図書館も学生に寄り添った活動を展開している。図書館としての本来の機

能がより充実してさらに素晴らしい方向に展開できるか、そこが一番気になる場所です。広く市民の意見を取り上げる仕組みを考えて欲しいと思いました。

<委員長> 市民からアンケートをとるなど市民からの意見を、ということでもよろしいでしょうか。

<委員> 図書館は1・2階になっているので死守して欲しいです。本は重いので建物に負荷がかかると思います。図書館は市の施設の中でもほかの施設に比べて入館者が多いと聞いています。いろんな方がいらっしやると思いますので、よろしくお願いします。

<委員> 資料には複合施設棟となっているが、将来的に建物はどのような名称になるのでしょうか。「中央図書館」になってその中に市民センターも入っているという言い方なのか、「市民〇〇センター」のような名前になってその一部が図書館になるのかで印象が変わってくると思う。今、ライフパークの中に図書室があるが、やはり図書室ですよ。ですので、この辺の位置づけがやはりどうなのかなというのがあります。(資料には)今の延べ床面積は書いていますが、中央図書館に与えられる延べ床面積は拡大するものなのか、減少するものなのか、この資料では読み取れない。カフェと併設となった時にどうしても高梁市のイメージを持ってしまう。おしゃれで居心地はいいのだけれど、(従来の)図書館に雰囲気慣れていないと(高梁市は)落ち着かない。カフェスペースで図書の本が置けなくなっているのではないかと。おしゃれさを求めていくのか、図書館としての機能性、効率性を高めていくのか、どういう性格なのか、わかる範囲で聞かせていただくと意見が言いやすいのかなと思いました。

<事務局> まだ何も決まっていない段階ですが、いまおっしゃっていただいたように、図書館としての機能を充実させたほうが良いという意見や、これまで倉敷市になかったような図書館が欲しいという意見もあると思いますので、たくさん聞かせていただいて、あげていきたいと思います。

<事務局> 図書館は全国にあまたあります。市立図書館としては新しくなる図書館はいろいろな図書館のいいところ取りをしていきたい。これから、基本構

想、基本計画をたてていく中で、図書館は老若男女が集まる場所ですので、バリアフリーは当然。予算のこともありすべての意見を吸収することは難しいと思いますが、いい図書館にしたいという思いです。

<委員> 開架率が今の図書館は35%というのは驚きなのですが、新しい図書館でも書庫、貴重資料を保存する場所が必要になるとと思いますが、どの階のこういった場所に作られるのか、水害や地震のことも考えたうえで災害対応もできる図書館にして欲しいという意見が（自分の属するグループの中で）ありました。

ボランティアとの協働が必要だと思うのでボランティアが利用しやすい会議室のようなものをという意見がありました。

みなさんにいろいろな意見や疑問があると思うので、説明会や意見を聞いてくださる会があるといいなということもありました。以前、市が主催した公共施設の集約とか建て替えの説明会に出たときに、憩の家の利用者の方が施設を利用するものの意見も吸い取ってほしいという意見が上がっていきまして、私もそうだなと思ったので、今日のような会議ももちろん有効だと思いますし、また利用されている方の意見も聞いていただけたらなと思います。

<委員> 中央図書館を長く活用させていただいています。

新しい図書館になっても、中央図書館の魅力は引き続き残されると思っています。私が中央図書館で好きなのは、静かに自分の好きな本を読むことができる。先ほども説明にあったように、イベントを計画されていますが、本を通していろいろな活動をすることができる、本の中の事を楽しむことができる。そういう場所、仕組みを継続して残してほしいと思います。それは子どもたちに小学校の図書館を使わせるときにも同じことをしています。自分の好きな本を読む時間、友達と一緒に本を楽しむ時間を確保しています。新しい図書館楽しみにしています。

知り合いが、以前、図書館で点字ボランティアしていたと聞いたことがあります。また、読み聞かせボランティアもあります。そういうボランティアを通して社会貢献ができるのは素敵だなと思いました。学校もコミュニ

ティスクール化といいまして、学校に読み聞かせボランティアをどんどん募集する流れになっています。いろんなところで読み聞かせをしたいというボランティアの情報網が図書館を中心があれば、学校としてもぜひ来てくださいとお声がけしやすくいいなあと思いました。

<委員長> 何か思いつきましたら、一度は図書館に連絡していただければと思います。

5 閉会 宇多川副委員長あいさつ

以上の議事録を、令和3年6月30日開催の令和3年倉敷市図書館協議会 議事録(要旨) とすることに同意します。

令和3年7月29日

倉敷市図書館協議会

委員長 玄馬 正雄

